

川名を通る鎌倉道

八柳 修之

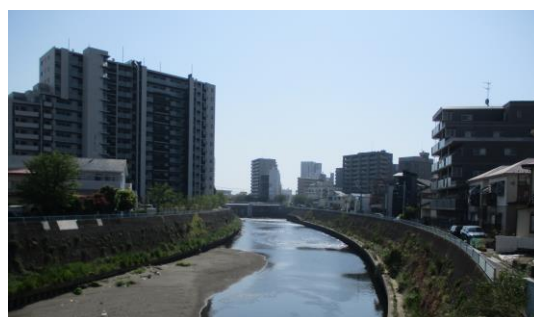
すべての道は鎌倉に通ず。鎌倉道、上の道、中の道、下の道がよく知られているが、このほか藤沢宿を起点として、建長寺円覚寺への鎌倉道、長谷の大仏への鎌倉道がある。後者は川名、深沢、笛田を経て、長谷の大仏に至る鎌倉道である。起点は藤沢橋を遊行寺方面へ 30m ほど歩き最初の角を右折し小滝川の橋を渡る。幅 10m 程の道、100m 程で右に船玉神社がある。この道の途中の見どころは省略して道なりに進むと、東海道線の踏切に出る。今回のスタートはここから。踏切は鎌倉道踏切 50K265M 藤沢市川名 1-12-1 と表示されている。50K265M とは、東京駅からの距離である。この地点は自宅から約 900 歩、半径 500m を超すがよしとしよう。踏切の脇に勝浦酒店がある。お酒も飲ませるようだ。このお店はなかなか面白い。



みんなで 乗り越えよう。 イイネ



お店の名前の書いた看板に住所と電話番号が書いてある。もう鎌倉郡でも村岡村でもないのに鎌倉郡村岡村弥勒寺二八四番地と、電話も局番があるはずなのに書いていない。店前の杉玉も年季が入っている。看板の書いてあるお酒の名前、扶桑鶴は島根県益田市、旭南は福岡県久留米市と判った。たばこと塩のホーロ看板。今では相当あちこち放浪しないと見られなくなりマニアにはレアものである。タバコも塩もかつては専売であったが、塩の専売は 1997 年に廃止され、タバコも 1985 年大蔵省専売局が廃止され日本たばこ産業（株）となり、外国のタバコも取り扱うようになった。



勝浦酒店の角が柏尾川に架かる川名橋、昭和 45 年 10 月竣工、長さ 43.8m。橋を渡ると四叉路に分かれる。左側がバス道、鎌倉道である。角に藤沢機器というブルーの建物の小さな会社がある。HP があり調べると昭和 25 年の設立、従業員 27 名、40 年以上にわたり原子力関連や防爆部品の加工・組み立てとある。下町のロケットだ。以後、平凡な道だがひととき目立つ大きな旧家がバス停川名の後ろにある。Y さん邸宅である。Y さん宅前から一寸横道を入るとこれも大きな S さん宅、ご主人が家の前の掃除をされていた。伺うと昔、養蚕農家をされていた、二階は蚕棚であったという。棟の部分にある丸金が屋号、一階はごく最近まで学童保育に貸していたという。



藤沢機器



Y 氏邸宅



養蚕をされていた S 氏宅



八城造園角の道標



川名交差点



工事中断の川名工区

道なりに進むと、県道 32 号線、林石材産業前に出る。30m 位進むと川名交差点、角は八城造園、小さな道標があり右かまくら、左むさしのとある。新しい道標なので八城造園あるいは林石材が建てたものかもしれない。柏尾川に架かる橋は東橋、32 号線は 312 号線横浜藤沢線と交差する。312 号線は現在川名交差点までとなっているが、312 号計画線は川名地区を通り約 1.8km、南藤沢東電前を通る国道 467 号線に接続する計画となっている。川名工区は川名の谷戸を通る計画であることから、自然保護団体等が自然環境の保存を求め反対している。そのため、環境アセスメントを行ってこの区間をトンネルにして片瀬北公園下辺りで地上に出る計画を進めているそうだ。荒屋敷橋を渡り、フジスーパー前から国道 467 号線に出て便利にはなるが、どれくらい渋滞が緩和されるだろうか。（横浜・藤沢線の計画については、神奈川県都市計画道路で検索すると見られます） 完